



経験のレンジ(幅)の広がり

1. 仕事の経験と見える景色

ここ最近、(少しだけ)見える景色が広がったように感じる

- ・相手の立場にたったと想像して、見える景色
- ・課題の分類を見分けようとする景色(本当に解決しないといけないことは何か?)
- ・相手に伝わっている量と内容(前提知識の有無)

【なぜ?】

- ・経験した案件数の増加 → 経験値の増加、さまざまな事例の蓄積
- ・承継、再編案件の横展開 → 人事、組織づくり、DD、基幹システム など
- ・プラットフォーム事業におけるさまざまな経験 → 仕事の幅と、高さ(深さ)が広がっていく感覚

2. レンジを広げるということ

いまやっていることがすべて点であったとしても、それが線になり、面になる

→ この面の数だけ、自身のなかでパターン化がされ、さまざまな課題に対して「当てはめ」ができる(仮説が立てやすくなり、外れにくくなる)

→ これまで経験してきたこと、MC で経験させていただいたことがすべていかされていく

3. これから持ち続けていく意識

- ・「すべて(の仕事、出来事に)意味がある」ととらえて「前向きに進むこと」(楽観主義)
- ・「何のためか」を意識することは忘れず、すべての経験をいかしていくための「志」をいだき続けること